

学校花壇やプランターに季節の花を植える活動

～植物園と学校との連携事例～

作成者：大阪府立花の文化園 業務課

- 対象者・人数：幼稚園児～小学生、中学生 10～150名
- 所要時間：45分程度
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント5名～10名
- 実施場所：学校の花壇、公園の花壇



■ 資材

- ・説明用紙芝居
- ・土入れ
- ・バケツ
- ・クワ
- ・レーキ
- ・ハンドマイク、拡声器（参加人数が多い場合）
- ・シャベル
- ・土入れ
- ・カメラ（活動記録用）
- ・ほうき、チリトリ（掃除用具）



クワ・レーキ



ハンドマイク



バケツ・シャベルなど

■ 花材

- ・パンジー
- ・クリスマスローズ
- ・チューリップ



パンジー



クリスマスローズ

【指導内容と目的】

- ・地域の植物園で育てたパンジーやクリスマスローズを無償で提供し、園児や小中学生とともにボランティアスタッフと学校花壇やプランターに植える活動である。
- ・「子供花植え教室」は、子どもたちが、花や緑にふれることで、人と自然のつながりを感じ、花を育てる楽しみや喜びを共感することを目的にしており、教育委員会と連携して実施している。
- ・植物園職員と植物に園芸を愛好するボランティアが講師となって、地域の幼稚園・小学校・中学校に出向指導する。
- ・指導側に参加するボランティアも花を介して子どもたちとのふれあいを楽しむ。

【対象者への配慮】

- ・事前に報告された人数と実際の参加人数が違う場合があるので確認する。事前にグループ分けをしてもらう。
- ・指導者もひらがなで大きく表示した名札をつける。（子どもにも分かりやすいように、「ひらがな」「ふりがなつき」の名札で親しみやすく）
- ・雨天の場合の対応、屋内作業への変更か、順延かを決める。
- ・ボランティアと植物園職員の連絡網を明確にする。連絡先など携帯番号も把握する。
- ・授業当日までに、花壇の除草、耕うん、施肥まで、学校側をお願いできるとよい。
- ・学校側、先生方、PTAの積極的な参加を呼びかける。
- ・変更がないか、必ず事前に確認をする。

○事前に教育委員会へ伝えておくこと

- ・植物の苗や球根を植物園での調達を希望する学校は、教育委員会を通じて数量を植物園へ事前に連絡する。
- ・事前に調整した内容と変更があるときは、必ず教育委員会を通じて（急なときは直接）植物園担当者へ連絡をとる。
- ・雨天の場合は原則延期はせず、雨でも作業できる場所を確保しておくことがのぞましい。（日程を変更するとボランティアの人数確保ができないため）

① 指導計画・スケジュール

■ 苗づくりを説明する資料（紙芝居）

〈当日の植え付けを説明する紙芝居〉



〈解説〉

本日は、みなさんにパンジーの苗を花壇などに植えていただきます。最初に、これから植える苗がどのようにしてできたかをお話します。

パンジーのタネは、タネの入っている袋から出して、直径15cmのお皿に入れていますが、ご覧のように、とっても小粒です。この小さいタネをまいて、芽を出させ、大事に苗を育てます。

② パンジーの「なえ」はどうやってつくるの?
タネまきからはじめるよ たくさんつくるとき



この小さなタネをピンセットで一粒をつまんで、土を入れた小さな仕切り（約2～3cm）に、軽く植え込みます。このとき、土は予め、湿らせておくことが大切です。大切なタネを重ならないように植えることはとても根気のいる作業です。

③ パンジーの「なえ」はどうやってつくるの?
タネまきしあとは こまかいつち（土）でおおうよ



タネまきをしたあとは、5mmぐらい薄く、ふるいにかけたこまかい土で覆ってやります。

④ パンジーの「なえ」はどうやってつくるの?
新聞紙をかぶせて、直射日光の当たらないところにおく。
土の表面が乾いてきたら、やさしく水をそそぐ。



新聞紙をかぶせて、直射日光の当たらないところに置きます。土の表面が乾いてきたら、ハス口のジョウロでやさしく水を注いでやります。
発芽したら、すぐに新聞紙をはずして、日当たりのよいところで管理します。

⑤ パンジーの「なえ」の成長をみてみよう!
タネをまいてから20日後



タネをまいてから数日後に発芽します。写真はタネをまいてから約20日後の芽を出した様子です。双葉の姿です。

⑥ パンジーの「なえ」の成長をみてみよう!
タネをまいてから30日後



本葉が出てきたら、9cmのビニールポットに植え替えます。施設ではタネをまいてから約30日後に植え替えています。
植え替える場合は、できるだけ根を切らないようにピンセットでそっと抜き取って植え替えます。写真は圃場で植え替えた時の様子です。

⑦ パンジーの「なえ」の成長をみてみよう!
タネをまいてから73日後



タネをまいてから、2か月を過ぎると、写真のような立派なパンジーの苗ができます。ポットの中には、しっかりと、根がはっています。
写真のパンジーは施設の圃場で撮影したものです。

■ 当日の植え付けを説明する紙芝居

1. 花のうえ方

移植ゴテや土入れを使って穴を掘ります。



2. 苗をとりだす

チョキをつくります。



3. 苗をチョキではさむ

苗の下の茎をチョキではさみます。



4. ポットを逆さまに

下向きにして、穴に指を入れて苗を押し出します。



5. 根をほぐす

根をほぐします。



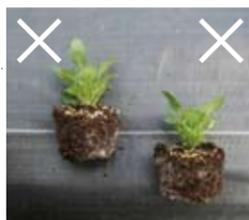
6. 植える高さ 良い例

苗と地面が同じ高さになるように植えます。



7. 植える高さ 悪い例

土の表面より高い、土の表面より低いのは悪い例です。



8. 植えたら水やり

植え終わったら、鉢の底から水が流れるまで、たっぷり水をあげましょう。



9. 植え付け後管理 1

花や葉っぱが枯れていたら、ハサミか指で茎の下から切ります。



10. 植え付け後管理 2

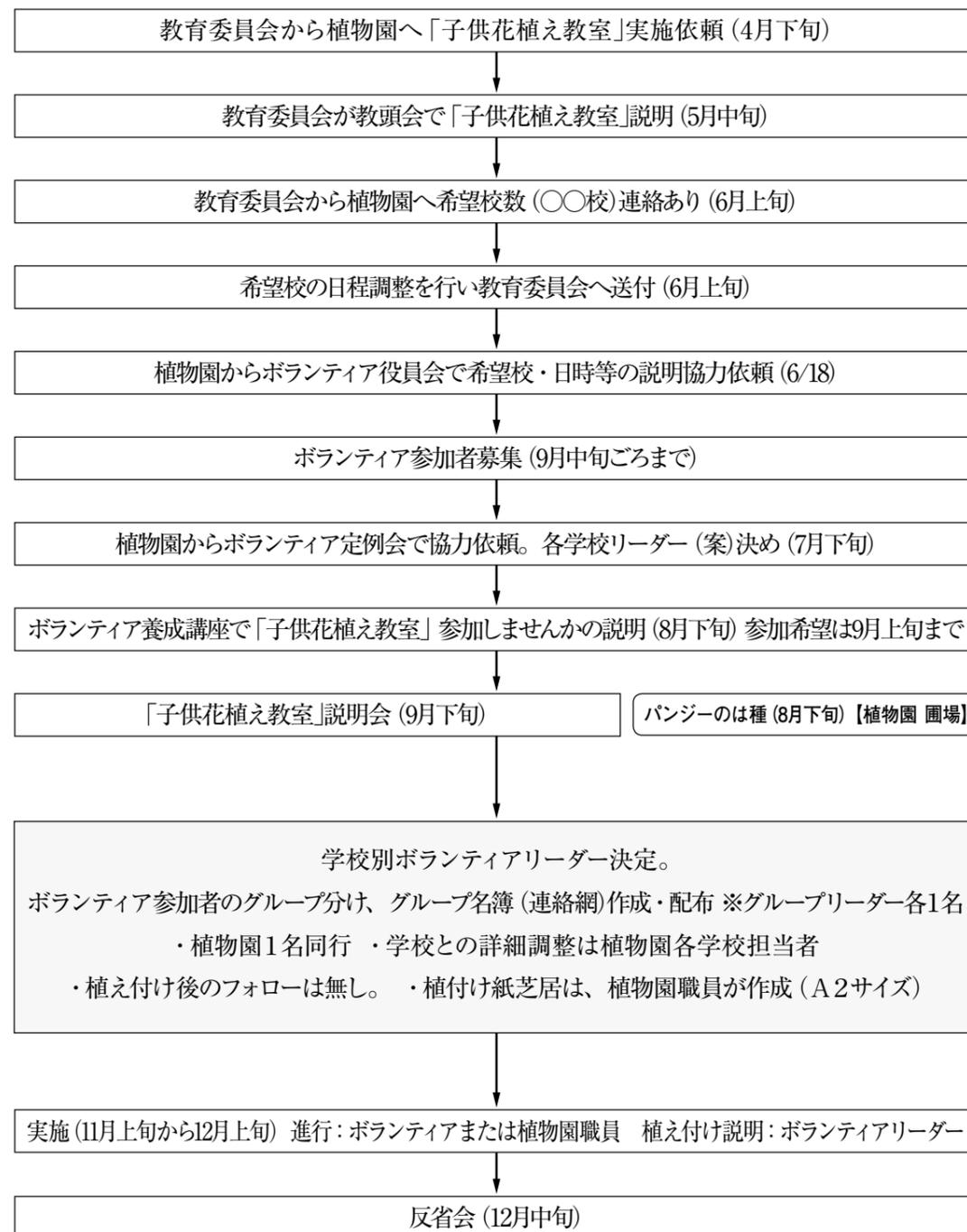
1週間後に固形肥料を2, 3粒あげましょう。

固形肥料



② 事前の準備

■ 活動の流れ



③ 当日の流れ

■ 事前

- ① 学校ごとの苗の配布数を決める。(植物園)
パンジー、クリスマスローズ
例) パンジー苗は、児童等70人以上は220ポット、70人未満は190ポット、クリスマスローズは1校20株で、各校と調整。
- ② まずは植物園担当者から各学校の担当者に挨拶の電話を入れ、配布予定苗数を伝える。(植物園)
- ③ 各学校の植物園担当者とボランティア・リーダーで、当日の段取り、事前に学校に伝えておくこと、確認することを整理する。(植物園、ボランティア)
 - ・ 鉢やプランター、花壇に植えるもの、植え方。
 - ・ 当日の開始までに、学校で準備しておくこと。土入れ、児童のグループ数など。
 - ・ 植物園・学校がそれぞれ準備するもの
植物園：花苗(パンジー、クリスマスローズ、球根)説明用紙芝居、土入れ、バケツ、カメラ、ハンドマイク
学校：土、肥料、鉢(プランター)、ジョウロ、球根
 - ・ 雨天の場合、どうするか。
 - ・ 当日、何時にどこから入るか。
- ④ 植物園担当者から、各学校へ確認する。(植物園)
「学校側で耕うんまで行い、植えつけができる状態にする」ことを確認する。※必要なときは、下見。
- ⑤ 植物園担当者は、学校へ確認した事項、当日の行く時間、待ち合わせ場所を決めてボランティア・リーダーへ連絡。(植物園)
- ⑥ 各ボランティア・リーダーは、連絡網で参加者全員に伝える。(ボランティア)

■ 事前

- ① 学校へ持っていくもの(花苗、球根、土入れ、バケツ、説明用紙芝居、カメラ、ハンドマイクなど)の準備。(植物園)
※ ボランティアは現地集合できない人は、植物園駐車場に集合(ボランティア)
- ② ボランティア現地集合。(エプロン着用、軍手など)(ボランティア)
- ③ 各学校の待ち合わせ場所で待機。
- ④ 先生へあいさつ。準備(植物園、ボランティア)
- ⑤ 開始……時間は授業時間に合わせ、人数に応じ1時限(45分)～2時限(100分)程度。
- ⑥ 進行は植物園担当者。(植物園、ボランティア紹介)(植物園)
植付け説明はボランティアリーダー。紙芝居を使用。球根があるときは、その説明も必要。(ボランティア)
※ 保護者が来ているときは、積極的に参加してもらう。
- ⑦ 5～10人のグループに分かれて植え付け作業。(児童1グループに1名は植物園、ボランティアがつく)
※ボランティアの人数によりグループ数を前もって学校に伝えておくとうい。
- ⑧ 水やりで花苗の植え付け終了。
- ⑨ クリスマスローズの苗植え付け(植物園、ボランティア)
※ 授業時間外になる可能性高い。植物園・ボランティア担当で植える。
※ 植付け場所によっては、くわなど必要。
- ⑩ 完了。先生にあいさつ。解散(植物園、ボランティア)



特製紙芝居を使って花の植え方を説明



プランターに花苗を植付中



小学校植え付け風景



中学校植え付け風景

・参加者数と指導者

児童等の数が100人未満で指導者・アシスタント5～10名

100人以上・150人以下で指導者・アシスタント10～15名

・所要時間や配分

準備時間……………約30分

授業時間……………約45時間

(説明……………約15分)

植え付け……………約30分)

片付け時間……………約20分

〈参考資料〉

ボランティア参加者からの意見

参加者の意見の内容	検討・改善策
パンジーの花色が薄い。鮮やかな色の方が特に低学年には喜ばれるように思う。	特にはじめの方は黄色・白色が咲いていなかった。咲いているものは、淡い青、ピンクの色目だった。濃い赤や黄色などの鮮やかな色目を配布できるようにしたい。
来年は植物園での種まきの時期を早めたい。	今回は8月25日。早めること、また学校配布の日程をこちらから事前に指定する(〇月〇日以降など。その場合は6月までに教育委員会へ言う必要あり)
K小学校の12月、1人1株しか植えなかった。1人1株では寂しい。 100人を目安に苗の配布を決めているとのことだが、1人2株は配布するようにしたほうが良いのでは。	今回の上限は、220ポット。1人2株は確保できるように調整するようにしたい。 今回合計4,000ポット。上限の学校数を決めておく、またはもっと余裕があるようにポット苗を確保するなど必要。
植えて終わりではなく、メンテナンスもしたほうが良いのでは。花がかわいそうなどところもある。	この活動が始まった2年ぐらいは見回りも実施していたが、園で話し合った結果、見回りはしないことになっている。メンテナンスをするかどうかは、反省会でそういう意見があったということで園で話をして決めたい。
クリスマスローズの管理は特に悪い。植えるところが完全な日陰などところもある。	「子供花植え教室」の短い時間の中ではパンジーのことだけで終わる。クリスマスローズは子どもたちではなく植物園・ボランティアで植えてしまっている学校もあり、愛着が少ない可能性もある。 クリスマスローズの植え方・扱い(「子供花植え教室」時間中にするかどうか等)は検討する。
学校によって取組み意識の違いがかなりある。発展のさせようは先生次第。学校にもっとしっかり育てるように言ったりする必要があるのでは。	植えつけたら「子供花植え教室」も終わりという意識がこちらにもあった。 今後の発展、植物のメンテナンスが大切という意見はもっともで、取り入れてやれることはやっていきたい。
花がらつみなど、あとのメンテナンスを教えるだけでも大分違う。	

意見の内容	検討・改善策
紙芝居は、この時代見かけない。大変良かった。紙芝居の内容、今後のこともいれてはどうか。例えば「植えてから〇ヵ月後にこんな作業をします」とか「水遣りはこんな風に」とか	・紙芝居の続き ・フォローとして見回り巡回 ・他の植物の紙芝居
紙芝居、他の植物(チューリップなど)も作ってはどうか。それが植物園の財産にもなるのでは。必要などころにも貸し出しなどしてはどうか?	
メンテナンスについて、「その後、お花はどうなりましたか?」というようなことを植物園から手紙などで発信してはどうですか。	やるようにしたい。
小さい苗も、大切に育てればこんなに大きくなる、という、後のことも紙芝居で入れてあげればいいのでは。1株しか植えることができなくても、大きくなることを見せれば良いと思う。	紙芝居に今後についての説明も作成したい。
メンテナンスについて、あとこんな風になりました、というコンテストをしたら良いと思う。各学校で植物の成長を写真で撮ってそれを展示するなど。表彰状をあげるなども。	市教育委員会と相談してできるかどうか検討したい。 紙芝居に今後についての説明も作成したい。
子どもが卒業した学校へ行った。近所に住んでおり子ども達に声もかけられた。参加して良かった。	
他の市に住んでいる。他の市へでは行われないのか?	地元を花いっぱいということで取り組んできたので他市へは今は予定していないが、意見として検討する。